

令和2年度 学校評価

学校評価

南和広域医療企業団南奈良看護専門学校では学校運営評価を実施しています。評価を実施することで自己改革と教育の質の向上を目指して学校運営の改善に努めています。教育方法と教育内容を評価する①授業評価（今年度は15時間以上の担当の講師の授業ごとに実施しました。）、②学生満足度評価の結果を参考に、教育機関としての機能を包括的に判定する学校運営評価を学校評価委員会が分析して最終評価を行っています。評価結果は次年度の組織目標に反映し、より良い学校運営につなげていきます。

学校運営評価

学校運営評価表で全教職員が自己評価を実施しています。

8の大項目、48の評価項目について「4:よい（評価結果をもとに検討し、対策を実施している）」「3:普通（現状を把握する資料に基づき、問題の有無を明らかにしている）」「2:やや不十分（調査や情報収集して現状を把握している）」「1:不十分（評価していない）」の4段階で評価しました。

学校運営評価の概要

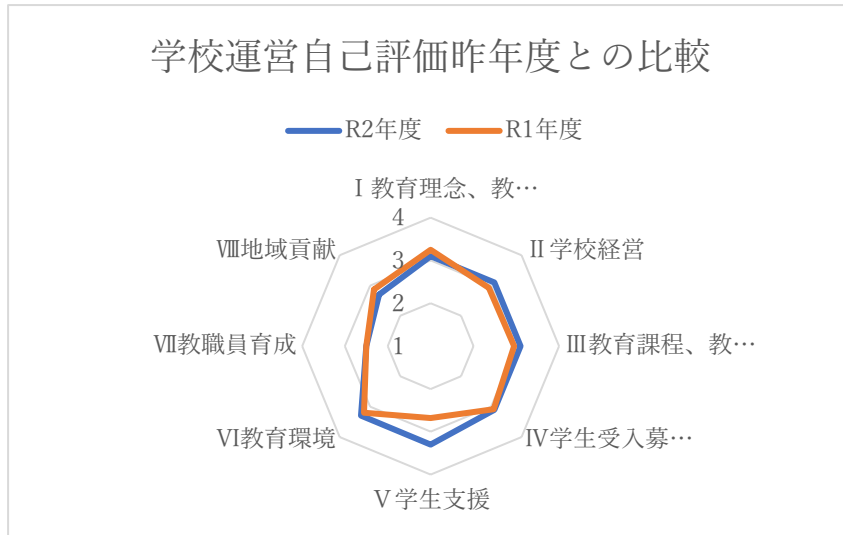
学校運営評価の評価内容概要と結果

| 評価領域 | 項目数 | 主な内容 | 結果(平均3.0) |
|-----------------|-----|---|-----------|
| I 教育理念・教育目的 | 2 | 教育理念、教育目的、教育目標やその周知 | 3.1 |
| II 学校経営 | 5 | 学校運営方針、目標設定、学校評価、組織・運営 | 3.1 |
| III 教育課程・教育活動 | 14 | カリキュラム、教育計画、教員の教育や研究活動、授業間の関連や協力体制、評価とフィードバック、学習への動機づけと支援 | 3.1 |
| IV 入学・就職率・卒後の支援 | 5 | 学校の広報、入学生の確保、国家試験対策、就職、卒後のキャリア形成 | 3.1 |
| V 学生の支援 | 5 | 就職支援、学生相談、健康管理、保護者との連携、教科外活動 | 3.3 |
| VI 教育環境の整備 | 6 | 施設・設備、教材の整備、実習施設、福利厚生施設、危機管理体制 | 3.3 |
| VII 教職員の育成 | 4 | 研修、研究支援 | 2.5 |
| VIII 地域貢献 | 3 | 地域への貢献、公開講座の開催、学生のボランティア | 2.7 |

令和2年度の学校運営評価の結果は以下の通りでした。



学校運営自己評価昨年度との比較



学校運営評価結果と今後への活用

令和2年度は平均3.0という結果でした。I～IVについては昨年に引き続き3を超える結果でした。昨年に引き続き2年連続で看護師国家試験に全員合格し、卒業生全員が南和広域医療企業団の病院や奈良県内の病院に就職いたしました。新入生も定数を確保し、令和3年度をスタートすることができました。

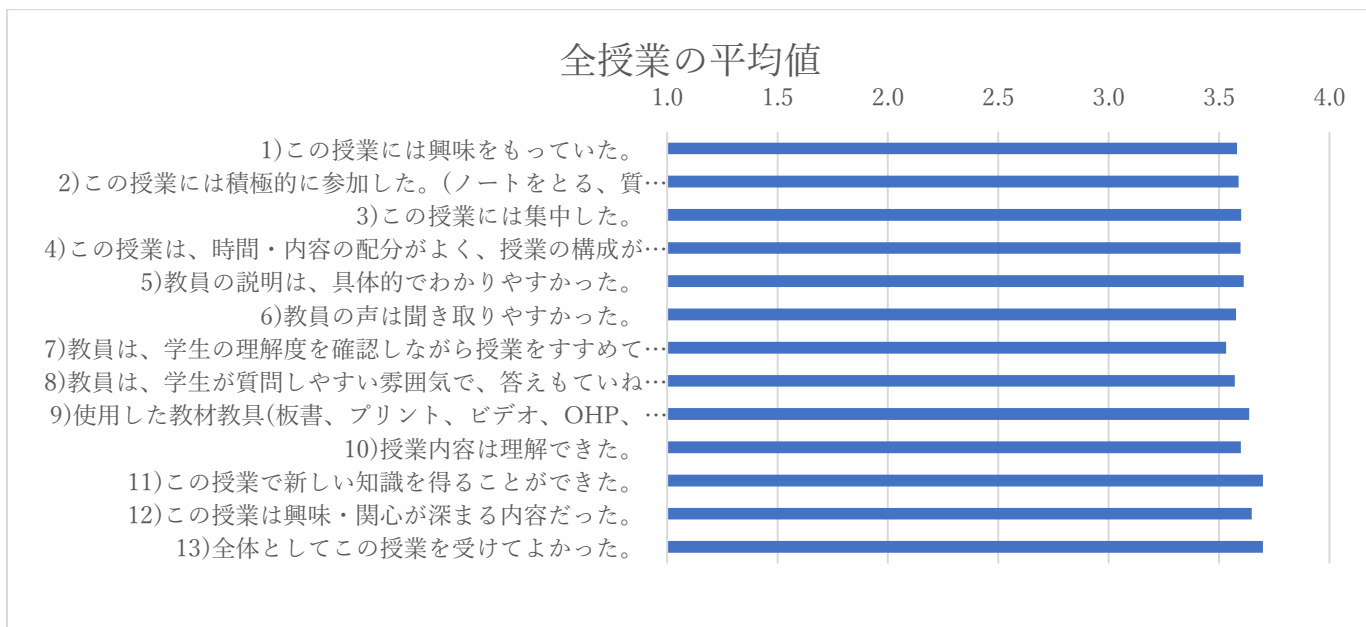
感染拡大により、活動が制限されVIIIの地域貢献が低下する中で全体の平均が3に達することができたのは、特にV. 学生の支援について大きく伸びた結果であるといえます。 covid19 の感染拡大による緊急事態宣言で休校となり、遠隔授業を実施するための設備も不十分な状況で教員も学生も不安な中で過ごしました。授業再開後は感染対策をとりながら授業を実施してきました。そのような中で退学者もなくこの結果を得られたことは、教員一人一人が学生に対して学習面や生活面できめ細やかな支援を行った結果であると考えます。

VIIの教職員育成については昨年度に引き続き2.5という結果でした。感染拡大による学内実習への変更等いつもと違う状況下で、授業準備等の教育活動を優先し、研修時間等の確保が困難であったためと考えます。多忙な中でも教員の質の向上のための対策を考えていく必要があると考えています。遠隔授業ができるよう ICT を活用できる設備等を整備しています。遠隔授業で使用するだけでなく、普段から授業に活用しながら教育の質の向上に努めてまいります。

資料1. 学生による授業評価の結果

授業評価は学生自身の授業への取り組み、授業の進め方や内容について学生が評価した結果です。

「4: とてもそう思う」「3: そう思う」「2: そう思わない」「1: 全くそう思わない」の4段階で評価しました。昨年度とほぼ変わりありませんでした。今年度は covid19 の感染拡大により実習の編成等が不規則であったため実習の授業評価は実施できませんでした。



資料2. 学生満足度評価の結果

6つの項目に対して47の評価項目に対して全学生が評価した結果です。

「4: そう思う」「3: ややそう思う」「2: あまりそう思わない」「1: そう思わない」の4段階で評価しました。

